

No.	13-2-11	場所	大鹿村鹿塩	次世代への継承キーワード
名称	民家の背後の斜面崩壊と鹿塩川に押し出した土砂			災害現象理解
災害現象	斜面崩壊・土砂流出			河川 鹿塩川
補足事項				支流

最大の災害は大西山の大崩落であった。ただ、被害は小渋川流域だけでなく支流の青木川・鹿塩川など流域全域に及んだ。とくに北部の鹿塩川上流の北川では鉄砲水が襲い掛かり、人命・家屋・農地が失われた。二十九日まで人々が孤立無援の状態で、ようやく三十日に新聞社ヘリの救助が入った。

●体験談：△△
 (妹は)22歳だったかな。他の人はゴムヒモのもんぺをはいていたが妹はバンドもして乱れたところもなく、きちんとしていた。これから結婚することにもなっていた。なぜだか指輪を玄関に置いていった。結婚が決まっていた人は国土交通(建設)省の人で残念がっていた。指輪が残っていたのではめて、きれいにしてあげた。
 (「体験者インタビュー集 大西山崩壊と大鹿村の復興」より)

記 録



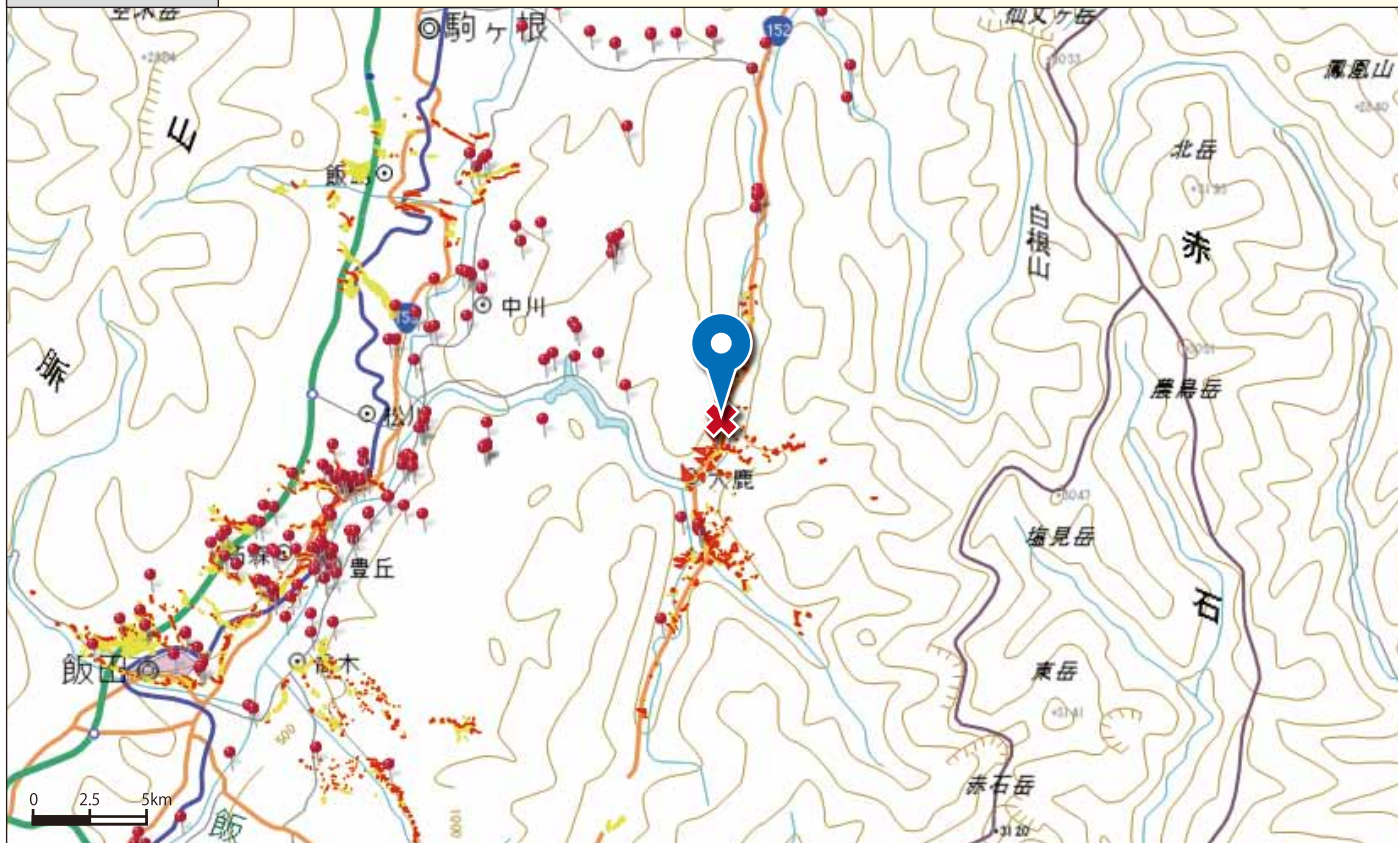
民家の背後の斜面の崩落と鹿塩橋に押し出した土砂

出典	「体験者インタビュー集 大西山崩壊と大鹿村の復興」p.13		
備考			

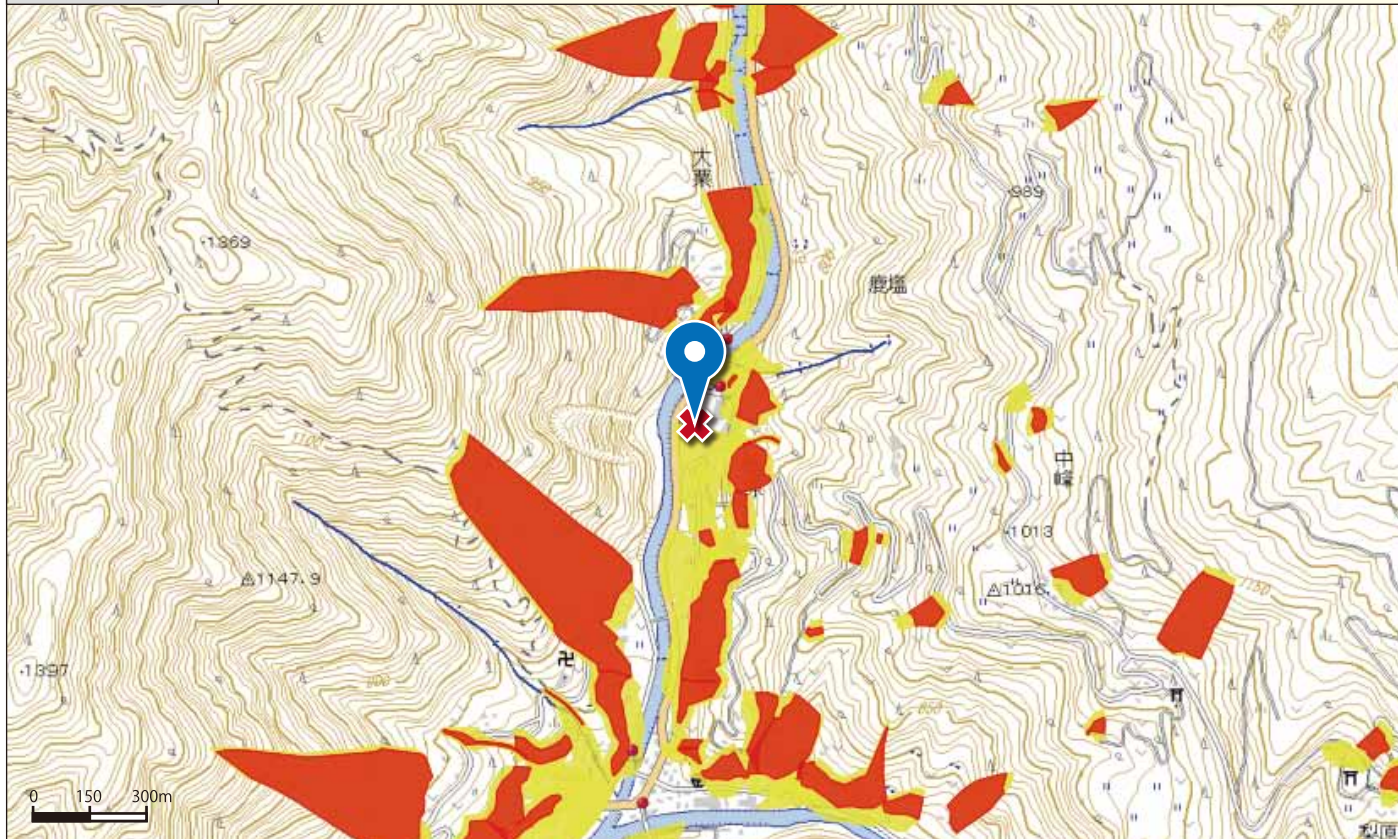
No.	13-2-11	場所	大鹿村鹿塩	緯度	35.597974
-----	---------	----	-------	----	-----------

名称	民家の背後の斜面崩壊と鹿塩川に押し出した土砂			経度	138.049414
----	------------------------	--	--	----	------------

地図	広域図
----	-----



地図	詳細図
----	-----



備考	<p>上記地図に表示されている、黄色の区域は「土砂災害警戒区域」（通称：イエローゾーン）といい、土砂災害のおそれがある区域を指します。また、赤色の区域は、「土砂災害特別警戒区域」（通称：レッドゾーン）といい、土砂災害警戒区域のうち、建築物に損壊が生じ、住民に著しい危害が生じるおそれがある区域を指します。</p>
----	--